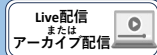


★ 微生物迅速測定器を導入する意義は何か？

セミナーNo.409102

★ 導電率・有機体炭素を管理する目的？ 貯槽と供給配管の汚染防止は？



製薬用水の基礎と

実践知識を理解する講座

- 日 時:2024年9月10日(火) 10:30~16:30
- 聴講料:1名につき 55,000円(消費税込、資料付)
[1社2名以上同時申込の場合のみ1名につき49,500円(税込)]
- 会場:Zoomを使用したLive配信 ※Live配信から
7営業日後を目安にアーカイブ配信いたします。 [大学、公的機関、医療機関の方には割引制度(アカデミック価格)があります。]

●講 師: 布目技術士事務所 代表 製薬用水コンサルタント 布目 温 氏

◆ 習得できる知識 ◆ : 第1章 製薬用水の基礎編
第2章 精製水をつくる応用編
第3章 WFI製造法と水管理へのヒント編

【講演主旨】

基礎編は、製薬用水とは何？飲料水と純水はどこが異なるのか？ 製薬用水でGMPIは？原水選択は？を理解して頂きます。

応用編は、AC塔・RO・EDI・蒸留器に内在する汚染と防止策を考えます。

ヒント編は、今なぜ①non distillationによるWFI製造が注目され採用されるのか？今なぜ②水質を可視化することが求められるのか？地球温暖化対応をも踏まえ製薬用水管理面のヒントと未来へ向けた策を考えたいと思います。

Prologue

第1章 製薬用水の基礎編

1. 純水と製薬用水の大きな違いは？
2. 精製水・WFIにとって何が不純物のか？
3. パイロジェンとエンドトキシン
4. 製薬用水はなぜ局方に定められるのか？
5. 導電率を管理する目的は何？
6. TOCを管理するねらいは何？

第2章 精製水をつくる応用編

1. イオン交換塔のしくみ
2. ROのしくみ
3. EDIのしくみ
4. 貯槽と供給配管の
汚染防止・デッドレグ基準について

第3章 WFI製造法と水管理へのヒント編

1. 蒸留法の利点を理解する
2. 膜によるWFI製造の利点と欠点
3. RMM(微生物迅速測定装置)の活用について
4. 外部査察への対処を、その後へ生かすには？

「製薬用水」セミナー申込書

(Live配信/アーカイブ配信 下記のいずれかに☑を入れてください)

Live配信 (No.409102)

開催日:9/10

アーカイブ配信 (No.409152)

配信期間:9/20~9/30

・申込書に必要事項をご記入の上、FAX(03-5436-5080)にてお申込みください。

・ホームページからも申込できます。https://www.gijutu.co.jp/

会社名	事業所・事業部		
住所	〒		
TEL	FAX		
	所属部課	氏名(フリガナ)	E-mail
受講者1			
受講者2			
今後ご希望しない案内方法に×印をしてください(現在案内が届いている方も再度ご指示ください) [郵送(宅配便)・FAX・e-mail]			
個人情報の利用目的			
・セミナーの受付、事務処理、アフターサービスのため			
・今後の新商品、新サービスに関するご案内のため			
・セミナー開催、運営のため講師へもお知らせいたします			



TECHNICAL INFORMATION INSTITUTE CO.,LTD.

申込専用FAX 03-5436-5080

●申込方法

1. 申込書が届き次第、請求書・聴講券・会場案内図をお送りいたします。
2. お申し込み後はキャンセルできません。
受講料は返金いたしませんので、ご都合の悪い場合は代理の方がご出席ください。

3. 申込み人数が開催人数に満たない場合等、状況により中止させて頂く場合がございます。
4. 定員になり次第、申込みは締切となります